

# 令和5年度 施策評価シート

基本目標	I	「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	130	水と緑を活かした、美しい景観をつくる
施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる
施策の目標	魅力的な水辺空間や緑豊かな公園が、区民や来街者にうるおいとやすらぎをもたらし、にぎわうとともに、まちの至るところに緑が増え、水と緑を親しむまちになっています。	

## 1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「墨田区の公園や水辺を日常的に利用している」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					53.0%					60.0%
実績	43.8%				53.8%					
指標名	「みどり率」									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標										20.9%
実績	20.5%				20.8%					

## 2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
<p>一定規模以上の建設事業に対する開発指導要綱等に基づく指導により、みどり率は徐々に増加している。しかし、本区は住宅等が密集しているため、緑化に適した場所が限られており、緑地の整備は進みにくいことから、大幅なみどり率の向上は難しい状況である。</p> <p>引き続き、みどり率の向上を進めながら、まちなか緑化(緑と花のまちづくり推進地域制度)や立体緑化(屋上緑化・壁面緑化)を推進して、日々の暮らしの中でうるおいとやすらぎを感じる「緑の満足度」を、区民・事業者・区の協働により高めていく。</p> <p>区は区有地や公共施設・学校における緑化を率先して行うとともに、既存の緑地について、良好な状態を維持する必要がある。</p>	R2	21,477
	R3	22,828
	R4	24,496

評価	理由
B	<p>みどり率は、民間建築物に対する指導等により少しずつ増加している。</p> <p>また、墨田区緑と生物の現況調査(平成31年3月)で実施したアンケート結果では、10年前より緑が増えていると感じる割合(「増えた」+「少し増えている」)が64.6%に増えている。</p>

## 4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
○	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
昭和47年の「緑化宣言」から半世紀にわたる着実な緑化施策の展開により、みどり率はこの22年間で0.7%(約97,000m <sup>2</sup> :旧安田庭園約7個分)向上した。「緑化宣言」「環境区宣言」の趣旨を踏まえ、うるおいあふれる環境にやさしく暮らしやすいまちづくりを実現するため、SDGsの視点も取り入れた持続可能な最重要課題として実施していく必要がある。	
【今後の具体的方針】	
多くの人の目に留まる地域に、区民参加を得てまちなか緑化(緑と花のまちづくり推進地域制度)事業実施地域を増やすことで、緑を通じて若年層も巻き込んだボランティアの担い手づくりを進めて、区民の緑化意識や緑の満足度の向上を図る。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
						評価対象年度
1	緑と花のまちづくり推進事業	7,811	6,650	14,461	18	改善・見直しのうえ 継続
					23	令和4年度
2	公共施設・民間建築物の屋上等緑化推進事業費	1,841	4,907	6,748	2500	改善・見直しのうえ 継続
					1778.9	令和4年度
3	緑と花の学習園及び緑の救急隊運営	10,631	2,476	13,107	9300	改善・見直しのうえ 継続
					9371	令和4年度
4	壁面緑化推進費	719	4,907	5,626	25	改善・見直しのうえ 継続
					42	令和4年度
5	緑化推進事業費	291	6,571	6,862	27.98	改善・見直しのうえ 継続
					28.5	令和4年度
6	緑と花のサポーター制度経費	236	840	1,076	40	改善・見直しのうえ 継続
					30	令和4年度
7	森林整備体験事業費	260	2,454	2,714	45	改善・見直しのうえ 継続
					30	令和4年度
8	緑のへい設置奨励費	0	1,636	1,636	1153	改善・見直しのうえ 継続
					1150.03	令和4年度
9	特別保全樹木補助事業	249	818	1,067	30	改善・見直しのうえ 継続
					30	令和4年度
10						
11						
12						

# 令和5年度 事務事業評価シート

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事業名	緑と花のまちづくり推進事業費		1
目的	区民・事業者・区等の連携により、身近に感じられる緑を増やし、日々の暮らしにやすらぎとうるおいを感じられる空間を創造する。		主管課・係(担当)
			環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対象者	区内の景観美化、緑化に意欲的な町会及び自治会等		
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン 第二次墨田区緑の基本計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤1 会計年度任用職員1
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会や自治会を対象に、「緑と花のまちづくり推進地域」を選定し、視覚的効果のある場所にプランター等を設置して、緑と花のサポーターの協力を得て、区が助成する花苗、土、肥料などを使い、地域住民が植栽の維持管理を行い、うるおいのあるまちづくりを推進する。</li> <li>・千葉大学と緑の基本計画及び環境共創プランの実現に向けた取組として、人と自然が共創する生活環境の実現に向けた共同研究を行い、まちなか緑化の持続・発展を図るため、ボランティアを育成していく。</li> </ul>		
経過	開始年度	平成22年度	終了予定
	<b>【実施地域及び開始年度】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度: 十間橋通り、丸井錦糸町店(平成29年度プランター全面撤去)、新竪川</li> <li>・平成23年度: プリメール柳島、鐘ヶ淵通り、押上二丁目町会(平成30年度プランター全面撤去)</li> <li>・平成24年度: おしなり商店街、本所吾妻橋商店街、北十間川</li> <li>・平成25年度: 向島一丁目町会、小梅一丁目町会</li> <li>・平成29年度: 曳舟西ビューハイツ、京島二丁目町会、京島南町会、京島三丁目北町会、京島三丁目中央町会、京島三丁目中央町会、京島三丁目東町会、立川一丁目町会</li> <li>・令和元年度: 業平三丁目町会</li> <li>・令和2年度: たもんじ交流農園、八広はなみずき高齢者支援センター、菊川二丁目町会</li> <li>・令和3年度: 墨田聖書教会、隅田中央町会、すみだ晴山苑</li> <li>・令和5年3月末現在 23地域</li> </ul>		
議会質問の状況	令和4年10月 決特 千葉大学の知見を活用してより充実するように		
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 年に3回(4月、7月、11月)区民から参加者を募り、東京スカイツリー周辺地域の花の植替え講習会を実施し、北十間川及びおしなり商店街に設置しているハンギングバスケットと、プランターを作成している。		

予算・決算額推移(単位:千円)	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)	4,672	5,366	4,554	8,668	7,926	8,834
A.決算額(令和5年度は見込み)	3,111	3,548	3,335	8,561	7,811	8,834
財源	国					
	都					
	その他					
一般財源	3,111	3,548	3,335	8,561	7,811	8,834
執行率(%)	66.6%	66.1%	73.2%	98.8%	98.5%	100.0%
B.人コスト		5,119	4,440	5,277	6,650	
総事業決算額(A+B)		3,111	8,667	7,775	13,838	
予算書P(令和5年度)	P130 7		執行実績報告書P(令和4年度)		P66 8	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	会計年度任用職員	376	報酬	会計年度任用職員	376	報酬	会計年度任用職員	398
報償費	講師謝礼	20	報償費	講師謝礼	25	報償費	講師謝礼	30
需用費	花苗等	3,115	需用費	花苗等	3,388	需用費	花苗等	3,403
委託料	千葉大学共同研究	5,050	役務費	郵送料等	22	役務費	郵送料等	116
			委託料	千葉大学共同研究	4,000	委託料	千葉大学共同研究	4,886

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	プランター、花壇、ハンギングバスケット数				単位	基
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		460	令和7年度	目標	400	420	425	430
				実績	412	420	430	442
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	435	440	445	450	455	460
	実績	460	501	499				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	まちなか緑化「緑と花のまちづくり推進地域事業」実施地域				単位	地域
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		21	令和7年度	目標	11	12	13	14
				実績	11	17	16	17
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	16	17	18	19	20	21
実績	20	23	23					
指標の選定理由及び目標値の理由								
地域数は、本事業を利用してどの程度、地域のみなさんがうるおいやすらぎを創出する活動をされているかの目安となるため								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	新規事業地域を増やすため、関係機関と情報共有を図っていく。

課題・問題点
天候が不順だと植栽管理に弊害が生じる。また、ボランティア及び参加者の高齢化により今後の活動が縮小していく可能性がある。

# 令和5年度 事務事業評価シート

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事業名	公共施設・民間建築物の屋上等緑化推進事業費		2
目的	ヒートアイランド現象を緩和するため、民間施設及び公共施設の屋上緑化を推進する。		主管課・係(担当)
			環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対象者	区内の民間建築物及び公共施設。屋上等緑化整備補助金を利用する区民。		
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン、第二次墨田区緑の基本計画 墨田区の緑の推進に関する要綱(第5条)、墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱 墨田区みどりの補助金要綱		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営      人員体制・委託先      常勤2
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上等緑化補助金</li> <li>・学校の環境施設維持補修</li> <li>・屋上緑化建築物安全点検</li> <li>・民間建築物屋上緑化点検</li> <li>・公共施設屋上緑化点検</li> <li>・屋上・壁面緑化見学ツアー(緑の探検隊)</li> </ul>		
経過	開始年度	終了予定	
	<p>平成14年度 庁舎屋上緑化見本コーナー開設(庁舎大規模改修工事に伴い、平成26年7月撤去)</p> <p>平成15年度 屋上緑化整備に対する補助事業開始</p> <p>平成15年度 開発指導要綱に基づく屋上等緑化指導開始</p> <p>平成20年度 集合住宅条例に基づく屋上等緑化指導開始 大規模開発時や集合住宅の建設時に屋上等緑化の設置を指導している</p> <p>平成28年度 学校等の環境施設維持補修計画策定(令和3年度計画終了。点検結果に基づき、適宜対応に変更)</p> <p>平成29年度 屋上・壁面緑化見学ツアー(緑の探検隊)開始</p>		
議会質問 の状況	令和 4年10月 決特 屋上緑化補助金交付要件(コンテナ使用・菜園も含む)見直し		
その他 特記事項			

予算・決算額推移(単位:千円)	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)	7,273	6,872	3,306	966	2,275	815
A.決算額(令和5年度は見込み)	6,642	2,492	2,349	298	1,841	815
財源	国					
	都					
	その他					
一般財源	6,642	2,492	2,349	298	1,841	815
執行率(%)	91.3%	36.3%	71.1%	30.8%	80.9%	100.0%
B.人コスト	/	2,166	6,175	3,518	4,907	/
総事業決算額(A+B)	6,642	4,658	8,524	3,816	6,748	/
予算書P(令和5年度)	P130 2,3		執行実績報告書P(令和4年度)		P65 3	



# 令和5年度 補助金評価シート

補助金名称	屋上等緑化整備補助金	主管課・係（担当）
根拠法令	墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱、墨田区みどりの補助金要綱	環境保全課緑化推進担当
補助概要	墨田区内に新たに屋上等緑化をしようとする者に1㎡当たり1万円又は、工事費（税抜）の半額のいずれか少ない額を助成する。	03-5608-6208
目的	緑の満足度の向上、地球温暖化防止やヒートアイランド現象の緩和に寄与する屋上緑化の民有地への設置を促すため。	
対象	新たに屋上等緑化をしようとする建築物を所有する個人及び中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人	
基準	区独自基準	
補助条件	新たに建築物の屋上や屋根のないルーフバルコニー等に1㎡以上の緑地を設けた場合。	
経過	開始年度	平成15年度
	終了予定	
	平成15年1月14日 屋上緑化整備補助制度開始。 平成28年4月1日 「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。壁面緑化補助器具の種類の規定、要綱解釈の明確化。 平成31年4月1日 「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。消費税の取扱いについて明記。 令和4年8月1日 「墨田区みどりの補助金要綱」制定。助成制度を一本化。	
議会質問の状況	令和4年10月 決特 屋上緑化補助金交付要件（コンテナ使用・菜園も含む）見直し	
その他特記事項		

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		740	740	740	400	400	300
決算額（令和5年度は見込み）		570	0	0	80	400	300
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		570	0	0	80	400	300
執行率（%）		77.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%	100.0%



補助金の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	屋上緑化助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	令和7年度	目標		2	2	2
				実績	0	0	2	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	0	1	1			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	民有地の屋上緑化推進のために助成制度を実施している。建築物の構造上の問題や、緑化工事費が高額であることから、年度ごとの大幅な件数の増加は望めない。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	助成による屋上緑化面積（事業開始年度からの累計）				単位	m <sup>2</sup>
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2,516.00	令和7年度	目標		2,276.00	2,306.00	2,336.00
				実績	2,246.80	2,246.80	2,328.60	2,328.60
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		2,366.00	2,396.00	2,426.00	2,456.00	2,486.00	2,516.00	
実績		2,328.60	2,337.18	1,778.90				
指標の選定理由及び目標値の理由								
各年度の申請には差異があるため、累計での目標値とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	既存公共施設の屋上緑化は、現状に基づき維持補修を実施して良好な状態に保つ。屋上緑化は都市部の緑地を増やす有効な手段であることから、更なる普及啓発を図り設置を推進していく。

課題・問題点
民間建築物の屋上緑化は条例・要綱による指導で着実に増えている。補助金については、条例・要綱に基づく設置は対象外であることや、既存建築物の場合は構造的に設置が難しい場合があるため申請件数が少ない。



# 令和5年度 事務事業評価シート

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事業名	緑と花の学習園及び緑の救急隊運営費		3
目的	区民に対する緑化啓発		主管課・係（担当）
			環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対象者	一般区民。緑を身近に感じたい、安らぎを求める区民。		
根拠法令 関連計画	墨田区の緑化推進に関する要綱第2条 緑の救急隊設置要綱		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤1、会計年度任用職員1 委託先:シルバー人材センター
事業内容	緑化啓発を目的とする学習園の管理運営のほか、緑化相談、民有地における植物の適正管理に関する現地指導。		
経過	開始年度	昭和56年度	終了予定
	昭和47年3月28日 緑化宣言 昭和50年4月1日 緑の救急隊設置要綱適用(昭和49年5月制定) 昭和56年4月1日 緑と花の学習園開園		
議会質問 の状況			
その他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		12,142	23,510	11,727	11,619	11,164	11,086
A.決算額（令和5年度は見込み）		9,612	22,240	10,754	10,874	10,631	11,086
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		9,612	22,240	10,754	10,874	10,631	11,086
執行率（%）		79.2%	94.6%	91.7%	93.6%	95.2%	100.0%
B.人コスト		/	11,320	7,202	9,675	2,476	/
総事業決算額（A+B）		9,612	33,560	17,956	20,549	13,107	/
予算書P（令和5年度）	P130 1	執行実績報告書P（令和4年度）			P65 1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	会計年度任用職員	3,395	報酬	会計年度任用職員	3,406	報酬	会計年度任用職員	3,457
給料	会計年度任用職員	2,133	給料	会計年度任用職員	2,133	給料	会計年度任用職員	2,134
職員手当等	会計年度任用職員	1,608	職員手当等	会計年度任用職員	1,615	職員手当等	会計年度任用職員	1,631
報償費	講師謝礼	0	報償費	講師謝礼	0	旅費	会計年度任用職員	9
旅費	会計年度任用職員	2	旅費	会計年度任用職員	2	需用費	消耗品の購入等	711
需用費	消耗品の購入等	741	需用費	消耗品の購入等	643	役務費	高木剪定等	550
役務費	高木剪定等	461	役務費	高木剪定等	491	委託料	管理業務委託	2,364
委託料	管理業務委託	2,456	委託料	管理業務委託	2,296	工事請負費	園内維持補修費	150
工事請負費	園内維持補修費	0	工事請負費	園内維持補修費	0	原材料費	物品購入	80
原材料費	物品購入	78	原材料費	物品購入	45			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	緑化講習会等の参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		170	令和7年度	目標		1450	1460	1470
				実績	1404	1053	880	691
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1480	1490	170	170	170	170
	実績	34	79	134				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑化講習会を緑と花の学習園等で開催することで、緑化の推進・啓発を図り新たな緑を増やすことに繋げるため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	緑と花の学習園来園者数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
9300		令和7年度	目標		10700	10750	10800	
			実績	10630	9606	9393	9303	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		10850	10900	9300	9300	9300	9300	
実績	8170	9132	9371					
指標の選定理由及び目標値の理由								
緑化相談を通じて既存の緑(植物)を適正に維持管理するための知識・手段を提供し、新たな緑を創出する意識を向上させるため。目標値については、平均来園者数から再設定をした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	開園以来、機能の見直しが行われていないことから、千葉大学の知見を活用しながら、緑化について学ぶ場、発信拠点として機能を見直しあり方を前向きに検討していく。

課題・問題点
「見て、学び、相談できる、緑と花の学習園」という目的達成のため、また、緑化推進を区民や緑と花のサポーター(緑化ボランティア)と協働で進める際の活動拠点になるように、園内の植物や施設の整備・改修を行う必要がある。園内の植物が大きく生長してきているため、他の植物との競合や隣地への越境などが懸念されることから、適宜伐採する等の対策が必要である。

# 令和5年度 事務事業評価シート

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事業名	壁面緑化の推進費		4
目的	地域の緑の満足度を高めるため、壁面緑化の推進を図る。		主管課・係(担当)
			環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対象者	壁面緑化整備補助金を利用する区民。区内の民間建築物。		
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン、第二次墨田区緑の基本計画 墨田区の緑の推進に関する要綱(第5条)、墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱 墨田区みどりの補助金要綱		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤3
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンギングバスケット講習会</li> <li>・緑のカーテンモデル設置支援(庁舎・公共施設)</li> <li>・緑のカーテン講習会</li> <li>・緑のカーテンコンテスト</li> <li>・屋上・壁面緑化見学ツアー(緑の探検隊)</li> <li>・壁面緑化整備補助金</li> <li>・学校の環境施設維持補修</li> <li>・庁舎壁面緑化見本コーナー</li> </ul>		
経過	開始年度	終了予定	
	昭和50年頃より苗木の無料配布時にツル性植物も取り入れる。 平成9年度、区有施設及び民間施設の立体緑化モデル事業再開 平成21年度、壁面緑化補助金新設 平成23年度～平成29年度、すみだエコポイント事業の一環として緑のカーテンポイント実施 平成27年度、緑のカーテンコンテスト開始(平成26年度試行) 平成28年度、学校の環境施設維持補修計画策定(令和3年度計画終了。点検結果に基づき、適宜対応に変更) 平成29年度、屋上・壁面緑化見学ツアー(緑の探検隊)開始		
議会質問 の状況	令和4年 3月 予特 緑のカーテン設置施設増		
その他 特記事項			

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		1,847	1,448	1,360	1,360	1,277	1,194
A.決算額(令和5年度は見込み)		1,357	1,016	707	891	719	1,194
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,357	1,016	707	891	719	1,194
執行率(%)		73.5%	70.2%	52.0%	65.5%	56.3%	100.0%
B.人コスト		/	6,989	7,940	9,675	4,907	/
総事業決算額(A+B)		1,357	8,005	8,647	10,566	5,626	/
予算書P(令和5年度)	P130 2,3,5	執行実績報告書P(令和4年度)			P65 2		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	61	報償費	講師謝礼	96	報償費	講師謝礼	71
需用費	消耗品の購入等	576	需用費	消耗品の購入等	477	需用費	消耗品の購入等	548
委託料	会場設営撤去委託	38	委託料	会場設営撤去委託	135	委託料	会場設営撤去委託	250
使用料及び賃借料	講習会会場使用料	6	使用料及び賃借料	講習会会場使用料	11	使用料及び賃借料	講習会会場使用料	25
負担金補助及び交付金	壁面緑化整備助成金	210	負担金補助及び交付金	壁面緑化整備助成金	0	負担金補助及び交付金	壁面緑化整備助成金	300

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	ハンギングバスケット講習会実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		4	令和7年度	目標		3	3	3
				実績	2	4	5	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
	実績	3	1	1				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	本区の住宅環境から、ハンギングバスケットは有効な園芸手法である。植物の植替え時期に合わせて、年3回を目標値にしている。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	公共施設への緑のカーテン設置支援				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		27	令和7年度	目標		23	23	24
				実績	21	17	18	26
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	24	25	25	26	26	27
実績	25	33	42					
指標の選定理由及び目標値の理由								
公共施設における緑のカーテンの設置を区が率先して行うことにより、区民に緑のカーテンの効果を実感してもらう。実績見合いによる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	地上部に緑地の設置が難しい本区の土地利用の現状で、壁面緑化や緑のカーテンの設置により緑の満足度の向上を図ることは、有効な緑化推進策であることから、引き続きPRを進める。

課題・問題点
区民向けに個人でもできる緑のカーテンづくりの普及をはかり、その効果(緑の満足度の向上・ヒートアイランド現象の緩和)についてPRする必要がある。 緑のカーテンモデル設置支援では、施設の設置状況に応じた支援資材の有効活用を図り経費節減に努めた。

# 令和5年度 補助金評価シート

補助金名称	壁面緑化整備補助金	主管課・係（担当）
根拠法令	墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱、墨田区みどりの補助金要綱	環境保全課緑化推進担当
補助概要	墨田区内に新たに壁面緑化をしようとする者に1㎡当たり1万円又は、工事費（税抜）の半額のいずれか少ない額を助成する。	03-5608-6208
目的	緑の満足度の向上、地球温暖化防止やヒートアイランド現象の緩和に寄与する壁面緑化の民有地への設置を促すため。	
対象	新たに壁面緑化をしようとする建築物を所有する個人及び中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人	
基準	区独自基準	
補助条件	新たに道路に沿った建築物の壁面に補助器具を設置してつる性植物等で覆い、壁面を緑化する場合。	
経過	開始年度	平成21年度
	終了予定	
	平成22年1月14日 壁面緑化整備補助制度開始。 平成28年4月1日 「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。壁面緑化補助器具の種類の規定、要綱解釈の明確化。 平成31年4月1日 「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。消費税の取扱いについて明記。 令和4年8月1日 「墨田区みどりの補助金要綱」制定。助成制度を一本化。	
議会質問の状況	令和4年 3月 予特 緑のカーテンの設置施設増	
その他特記事項		

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		380	380	380	380	380	300
決算額（令和5年度は見込み）		80	0	0	210	380	300
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		80	0	0	210	380	300
執行率（%）		21.1%	0.0%	0.0%	55.3%	100.0%	100.0%

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	壁面緑化助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	令和7年度	目標		2	2	2
				実績	0	1	1	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	0	1	0			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	民有地の壁面緑化推進のために助成制度を実施している。建築物の構造上の問題や、工事費が比較的高額であることから、年度毎の件数の増加は望めない。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	助成による壁面緑化面積（事業開始年度からの累計）				単 位	m <sup>2</sup>
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		108.30	令和7年度	目標		68.30	73.30	78.30
				実績	63.30	116.90	125.30	125.30
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		83.30	88.30	93.30	98.30	103.30	108.30	
実績		125.30	146.30	146.30				
指標の選定理由及び目標値の理由								
各年度の申請には差異があるため、累計での目標値とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	地上部に緑地の設置が難しい本区の土地利用の現状で、壁面緑化や緑のカーテンの設置により緑の満足度の向上を図ることは、有効な緑化推進策であることから、引き続きPRを進める。

課題・問題点
<p>区民向けに個人でもできる緑のカーテンづくりの普及をはかり、その効果（緑の満足度の向上・ヒートアイランド現象の緩和）についてPRする必要がある。</p> <p>緑のカーテンモデル設置支援では、施設の設置状況に応じた支援資材の有効活用を図り経費節減に努めた。</p>

# 令和5年度 事務事業評価シート

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事業名	緑化推進事業費		5
目的	緑化を推進するための啓発事業を実施することで、区民が緑に親しむ機会を増やし、緑の満足度を向上させる。		主管課・係(担当)
			環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対象者	広く一般区民		
根拠法令 関連計画	墨田区の緑化の推進に関する要綱第2条 第二次墨田区緑の基本計画		
実施基準	区独自基準	実施方法 直営	人員体制・委託先 常勤:3
事業内容	緑化啓発を目的とした、各種緑化講習会等を実施している。 集合住宅及び大規模建築物への緑地整備について指導している。		
経過	開始年度		終了予定
	平成15年度 開発指導要綱に基づく屋上等緑化指導開始 平成20年度 集合住宅条例に基づく屋上等緑化指導開始 大規模開発時や集合住宅の建設時に屋上等緑化の設置を指導している 令和3年4月1日 緑の愛護に関する規程の改正 緑の推進会議の設置		
議会質問 の状況			
その他 特記事項			

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		553	536	536	511	430	802
A.決算額(令和5年度は見込み)		360	391	295	296	291	802
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		360	391	295	296	291	802
執行率(%)		65.1%	72.9%	55.0%	57.9%	67.7%	100.0%
B.人コスト					6,157	6,571	
総事業決算額(A+B)		360	391	295	6,453	6,862	
予算書P(令和5年度)	P130 5	執行実績報告書P(令和4年度)			p65 6		



予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	15	報償費	講師謝礼	15	報償費	講師謝礼	142
旅費	担当者会議等出張	1	旅費	担当者会議等出張	0	旅費	担当者会議等出張	17
需用費	講習会材料等	192	需用費	講習会材料等	188	需用費	講習会材料等	297
役務費	郵送料	0	役務費	郵送料		役務費	郵送料	1
委託料	会場設営等	88	委託料	会場設営等	88	委託料	会場設営等	320
						使用料及び賃借料	会場使用料	25

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	緑化講習会等の参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		170	令和7年度	目標		1450	1460	1470
				実績	1404	1053	880	691
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1480	1490	170	250	250	250
	実績	34	79	134				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑化講習会等を緑と花の学習園等で開催することで、緑化の推進・啓発を図り新たな緑を増やすことに繋がるため。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	住民意識調査における「生活環境評価 緑の豊さ」で「やや良い・良い」と回答した区民の割合				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
29.11		令和7年度	目標		25.99	26.38	26.81	
			実績	25.6	25.6	23.5	23.5	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		27.2	27.59	27.98	28.37	28.76	29.15	
実績	27.2	27.2	28.5					
指標の選定理由及び目標値の理由								
身近に感じられる緑にふれる機会の充実度を指標として、日々の暮らしにうるおいを感じられるように、緑の満足度を向上させる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	緑の満足度の向上に向けて、緑化の諸施策をさらに推進していく。

課題・問題点
緑化講習会開催場所 土壌を使用するケースが多いが、施設側が汚損等の理由から緑化講習会による利用制限があり、会場確保が課題になりつつある。

# 令和5年度 事務事業評価シート

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事 業 名	緑と花のサポーター制度経費		6
目 的	公募した「緑と花のサポーター」が「緑と花の学習園」を活動拠点として、「まちなか緑化」などの植物の手入れや、区が主催するイベント・緑化講習会にボランティアとして参加することで、区民の緑化に対する意識の向上、緑化に関心のある人のネットワークの拡大につなげていく。		主管課・係(担当)
			環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対 象 者	緑に関心のある区民		
根 拠 法 令 関 連 計 画	第二次すみだ環境の共創プラン 第二次墨田区緑の基本計画		
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 会計年度任用職員1
事 業 内 容	「緑と花の学習園」「緑と花のまちづくり推進地域」などの維持管理や、緑化推進のための啓発事業等のサポート。また、植物の維持管理に必要な知識と経験を身に付けてもらうための研修会等を開催する。これにより緑を愛する区民を増やしていく。		
経 過	開始年度	平成14年度	終了予定
	平成12年度から区民ボランティアの参加により、公的未事業化用地(空き地)の除草作業を実施してきた。平成14年4月1日、その参加者が他の公共緑地にも活動の場を広げたいということから、本制度を創設した。(発会式平成14年5月15日) 平成30年度、令和4年度、新規登録者を増やすため、若年層向け「緑化ボランティア体験」開催(名称:園芸・ガーデニング体験)		
議 会 質 問 の 状 況			
そ の 他 特 記 事 項			

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		285	277	277	276	274	273
A.決算額(令和5年度は見込み)		257	222	221	202	236	273
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		257	222	221	202	236	273
執行率(%)		90.2%	80.1%	79.8%	73.2%	86.1%	100.0%
B.人コスト		/	9,351	882	6,157	840	/
総事業決算額(A+B)		257	9,573	1,103	6,359	1,076	/
予算書P(令和5年度)	P130 4	執行実績報告書P(令和4年度)			P65 5		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品費	202	報償費	講師謝礼	10	報償費	講師謝礼	40
			需用費	消耗品費	202	需用費	消耗品費	202
			役務費	郵送料	0	役務費	郵送料	2
			使用料及び賃借料	高速道路使用料	24	使用料及び賃借料	高速道路使用料	29

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	緑と花のサポーター登録数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		55	令和7年度	目標		50	50	50
				実績	47	47	48	47
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	55	55	55	55	55	55
	実績	46	46	46				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	安定したサポーター活動を行うため、登録人数を指標とした。健康状態や家庭環境の変化に伴い、活動をやめる方もいるので、安定した登録者数を確保することが必要である。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	緑と花のサポーター実働数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
40		令和7年度	目標		35	35	35	
			実績	31	30	30	30	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		40	40	40	40	40	40	
実績	29	30	30					
指標の選定理由及び目標値の理由								
ボランティア活動を継続的かつ安定して行うため、活動状況（登録者のうち実際に活動（1回以上／年度）した人数）を指標とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	幅広い年齢層の新規ボランティアの募集と、リーダー的な役割を担うボランティアの育成を図り、花と緑に関する更なる活動の場や内容を検討・実施する。

課題・問題点
サポーター活動で得た技術や知識の共有を図りつつ、活動を拡大していくためサポーターとの連携を強化していく。

# 令和5年度 事務事業評価シート

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事業名	森林整備体験事業費		7
目的	環境学習の促進		主管課・係(担当)
			環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対象者	小学生以上の区民		
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン 第二次墨田区緑の基本計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤1、委託先:有限会社高見林業
事業内容	6月初旬:植林体験 8月初旬:林業機械操縦体験 10月下旬:間伐体験		
経過	開始年度	平成23年度	終了予定
	【平成19年度】間伐体験を試行実施(山梨県山梨市ライオン山梨の森) 【平成20年~22年度】植林・下草刈り・間伐体験実施(山梨県山梨市ライオン山梨の森) 【平成23年度~】植林・間伐体験の会場変更(栃木県鹿沼市) 【平成28年度~】林業機械操縦体験		
議会質問 の状況	平成29年決特・令和2年予特 実施回数を増やす検討		
その他 特記事項			

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		607	611	0	378	370	276
A.決算額(令和5年度は見込み)		443	296	0	111	260	276
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		443	296	0	111	260	276
執行率(%)		73.0%	48.4%	#DIV/0!	29.4%	70.3%	100.0%
B.人コスト		/	4,922	1,764	4,398	2,454	/
総事業決算額(A+B)		443	5,218	1,764	4,509	2,714	/
予算書P(令和5年度)	P130 6	執行実績報告書P(令和4年度)			P66 7		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
旅費	出張旅費	2	旅費	出張旅費	8	旅費	出張旅費	11
需用費	事務用品等購入	0	需用費	事務用品等購入	1	需用費	事務用品等購入	5
役務費	参加者保険料	1	役務費	参加者保険料	3	役務費	参加者保険料	3
委託料	森林整備体験指導委託	100	委託料	森林整備体験指導委託料	200	委託料	森林整備体験指導委託料	200
負担金補助交付金	高速道路通行料	8	使用料及び賃借料	高速道路通行料	48	使用料及び賃借料	高速道路通行料	57

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	森林整備体験開催回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3	令和7年度	目標		3	3	3
				実績	3	3	3	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
	実績	0	1	3				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区内では経験することができない、植林・間伐作業、林業機械の操縦体験や緑や森林の役割について、学ぶ機会を提供する。体験作業の実施に適した季節に限られることから、目標値の増加は困難である。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	森林整備体験参加者数(延べ)				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
45		令和7年度	目標		45	45	45	
			実績	43	41	35	50	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		45	45	45	45	45	45	
実績	0	10	30					
指標の選定理由及び目標値の理由								
区民が体験を通して、緑の大切さ、森林の役割、地球温暖化等に対して、どの程度関心を持っているのか知ることができるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	環境学習の機会を引き続き提供していく。多くの区民に体験していただき、その学習成果を生かせる仕組みを構築していく。

課題・問題点
実施回数の増要望があるが、実施できる季節や交通の制約(大型バスの通行が難しい)があるため難しい状況にある。

# 令和5年度 事務事業評価シート

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事 業 名	緑のへい設置奨励費		8
目 的	道路に面した沿道部へ、新たに生け垣や植樹帯の設置及びそれに伴うブロック塀等の取り壊しをする区民に対し、助成を行い「緑の満足度」の向上や「防災」に寄与する。		主管課・係(担当)
			環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対 象 者	道路に面して道路通行者から十分視認できると認められる場所に緑のへい等を新たに設置し、又は緑のへい等ではないブロック塀等を緑のへいに造り替える区民		
根 拠 法 令	第二次すみだ環境の共創プラン、墨田区緑の基本計画		
関 連 計 画	墨田区の緑化の推進に関する要綱(第5条)、緑のへい等設置補助金等交付要綱、墨田区みどりの補助金交付要綱		
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤1
事 業 内 容	道路に面した沿道部へ、新たに生け垣や植樹帯の設置及びそれに伴うブロック塀等の取り壊しをする区民に対し、助成を行う。		
経 過	開始年度	昭和48年度	終了予定
	昭和48年4月1日 「緑のへい設置奨励金交付実施細目」制定(生け垣、植樹帯の区分無し)。植樹帯の補助新設。「緑のへい等設置奨励金等交付実施細目」に改める。 平成元年4月1日 「緑のへい等設置補助金等交付要綱」制定。実施細目は廃止。 平成3年4月1日 改正。補助金額に上限を設ける。 平成14年4月1日 改正。納税確認の追加等、定義・要件を見直した。 平成28年10月1日 改正。消費税の取扱いについて明記。 平成31年4月1日 「墨田区みどりの補助金交付要綱」制定。助成制度を一本化。 令和4年8月1日		
議 会 質 問 の 状 況			
そ の 他 特 記 事 項			

予算・決算額推移(単位:千円)	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)	680	680	680	420	420	300
A.決算額(令和5年度は見込み)	257	43	636	0	0	300
財 源	国	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	257	43	636	0	0	300
執行率(%)	37.8%	6.3%	93.5%	0.0%	0.0%	100.0%
B.人コスト		787	3,529	880	1,636	
総事業決算額(A+B)	257	830	4,165	880	1,636	
予算書P(令和5年度)	P130 2		執行実績報告書P(令和4年度)		P65 4	





# 令和5年度 補助金評価シート

補助金名称	緑のへい等設置補助金	主管課・係（担当）
根拠法令	緑のへい等設置補助金等交付要綱	環境保全課緑化推進担当
補助概要	墨田区内に新たに生け垣又は植樹帯を設置する者に対し、生け垣の場合1m当たり20,000円又は工事費（税抜）のどちらか少ない額、植樹帯の場合1㎡当たり24,000円又は工事費（税抜）のどちらか少ない額を助成する。	03-5608-6208
目的	道路に面した沿道部へ、新たに生け垣や植樹帯の設置及びそれに伴うブロック塀等の取り壊しをする区民に対し、助成を行い「緑の満足度」の向上や「防災」に寄与する。	
対象	道路に面して道路通行者から十分視認できると認められる場所に緑のへい等を新たに設置し、又は緑のへい等ではないブロック塀等を緑のへいに造り替えた者	
基準	区独自基準	
補助条件	新たに沿道部に生け垣又は植樹帯を設けた場合。	
経過	開始年度	昭和48年度
	終了予定	
	昭和48年4月1日 「緑のへい設置奨励金交付実施細目」制定（生け垣、植樹帯の区分無し）。 平成元年4月1日 植樹帯の補助新設。「緑のへい等設置奨励金等交付実施細目」に改める。 平成3年4月1日 「緑のへい等設置補助金等交付要綱」制定。実施細目は廃止。 平成14年4月1日 改正。補助金額に上限を設ける。 平成28年10月1日 改正。納税確認の追加等、定義・要件を見直した。 平成31年4月1日 改正。消費税の取扱いについて明記。 令和4年8月1日 「墨田区みどりの補助金交付要綱」制定。助成制度を一本化。	
議会質問の状況		
その他特記事項		

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		680	680	680	420	420	300
決算額（令和5年度は見込み）		257	43	636	0	0	300
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		257	43	636	0	0	300
執行率（%）		37.8%	6.3%	93.5%	0.0%	0.0%	100.0%

補助金の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	緑のへい等助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3	令和7年度	目標		3	3	3
				実績	2	3	2	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績	4	0	0			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑のへいには視覚的効果があり、災害時には被害を抑制できるため、窓口やイベントで制度をPRして利用者を増やしていく。ただし、区内は住宅密集地が多く、設置できる場所が限られているため、年度ごとの大幅な件数の増加は望めない。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	生け垣の長さ（平成元年度からの累計）				単位	m
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,183.00	令和7年度	目標		1,103.00	1,113.00	1,123.00
				実績	1,092.95	1,108.35	1,115.75	1,125.75
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		1,133.00	1,143.00	1,153.00	1,163.00	1,173.00	1,183.00	
実績		1,150.03	1,150.03	1,150.03				
指標の選定理由及び目標値の理由								
各年度の申請（生け垣長さ）には差異があるため、累計での目標値とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	緑の満足度を高める有効な施策であり、一定の実績がある。PRを進めて利用促進を図る。

課題・問題点
条例・要綱の対象となる建築物は対象外であることや、敷地内に緑地を設ける場所が少ないため大幅な申請件数増加は難しい。

# 令和5年度 事務事業評価シート

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事 業 名	特別保全樹木補助事業		9
目 的	区内に残された自然度の高い貴重な保全樹木等の所有者又は管理者に対し、その維持管理費の一部及び樹木診断等に要する経費の一部を補助すること(各1年に1回限り)により、生活環境の保全及び快適な環境の確保を図ることを目的とする。		主管課・係(担当)
			環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対 象 者	特別保全樹木等を所有若しくは管理する個人、中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人、宗教法人、住宅管理組合又は町会若しくは自治会		
根 拠 法 令 関 連 計 画	第二次すみだ環境の共創プラン、緑の基本計画、墨田区特別保全樹木等補助金交付要綱 墨田区みどりの補助金要綱		
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤1
事 業 内 容	<p>以下の条件を満たす特別保全樹木等の剪定等維持管理又は樹木診断等を行った場合、その経費の一部を助成する。</p> <p>1 樹木 地上1.5mの高さにおける幹の周囲が1.2m以上あり生育状況が健全であること。</p> <p>2 生垣 高さ1m以上、総延長30m以上で道路に面しており、生育状況が健全であること。</p>		
経 過	開始年度	平成21年度	終了予定
	<p>平成21年4月1日 特別保全樹木補助事業開始。 令和2年4月1日 「墨田区特別保全樹木等補助金交付要綱」改正。樹木診断等に要する費用の補助を新設。 令和4年8月1日 「墨田区みどりの補助金交付要綱」制定。助成制度を一本化。</p> <p>【特別保全樹木等指定状況(R5.3.31現在)】 樹木 29箇所 159本 生け垣 2箇所 189m</p>		
議 会 質 問 の 状 況	令和元年3定 樹木診断助成の新設【約束事項:完結】		
そ の 他 特 記 事 項			

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		380	380	380	372	360	300
A.決算額(令和5年度は見込み)		326	226	224	289	249	300
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		326	226	224	289	249	300
執行率(%)		85.8%	59.5%	58.9%	77.7%	69.2%	100.0%
B.人コスト		/	984	3,529	880	818	/
総事業決算額(A+B)		326	1,210	3,753	1,169	1,067	/
予算書P(令和5年度)	P130 2	執行実績報告書P(令和4年度)			P65 3		



# 令和5年度 補助金評価シート

補助金名称	特別保全樹木等補助金	主管課・係（担当）
根拠法令	墨田区特別保全樹木等補助金交付要綱、墨田区みどりの補助金要綱	環境保全課緑化推進担当
補助概要	(1) 剪定等の維持管理に要する経費の補助 樹木：剪定等維持管理に要する経費の半額又は、2万円/1本のいずれか少ない額 生け垣：500円/1m (2) 樹木診断等に要する経費の補助 樹木診断等に要する経費の半額又は、2万円/1件のいずれか少ない額	03-5608-6208
目的	区内に残された自然度の高い貴重な保全樹木等の所有者又は管理者に対し、その維持管理費の一部及び樹木診断等に要する経費の一部を補助すること（各1年に1回限り）により、生活環境の保全及び快適な環境の確保を図ることを目的とする。	
対象	特別保全樹木等を所有若しくは管理する個人、中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人、宗教法人、住宅管理組合又は町会若しくは自治会	
基準	区独自基準	
補助条件	以下の条件を満たす特別保全樹木等の剪定等維持管理又は樹木診断等を行った場合。 1 樹木 地上1.5mの高さにおける幹の周囲が1.2m以上あり生育状況が健全であること。 2 生垣 高さ1m以上、総延長30m以上で道路に面しており、生育状況が健全であること。	
経過	開始年度	平成21年度
	終了予定	令和5年度
	平成21年4月1日 特別保全樹木補助事業開始。 令和2年4月1日 「墨田区特別保全樹木等補助金交付要綱」改正。樹木診断等に要する費用の補助を設ける。 令和4年8月1日 「墨田区みどりの補助金交付要綱」制定。助成制度を一本化。 【特別保全樹木等指定状況（R4.3.31現在）】 樹木 29箇所 159本 生け垣 2箇所 189m	
議会質問の状況	令和元年3定 樹木診断助成の新設【約束事項：完結】	
その他特記事項		

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		380	380	380	372	360	300
決算額（令和5年度は見込み）		326	226	224	289	249	300
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		326	226	224	289	249	300
執行率（%）		85.8%	59.5%	58.9%	77.7%	69.2%	100.0%

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	特別保全樹木助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		10	令和7年度	目標		8	9	9
				実績	7	6	7	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	10	10	10
		実績	6	6	7			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	本助成制度の利用状況を指標として、貴重な樹木等の保全を図る。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	特別保全樹木指定件数（事業開始年度からの累計）				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		30	令和7年度	目標		30	30	30
				実績	30	30	29	29
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		30	30	30	30	30	30	
実績		30	30	30				
指標の選定理由及び目標値の理由								
本区は関東大震災と戦災、その後の都市化の進行に伴い、新規指定できる樹木は少ない状況にある。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	事業の区民への周知を通して、良質かつ貴重な樹木等を未来に引き継いでいくことの大切さを周知していく必要がある。

課題・問題点
特別保全樹木等に指定された樹木等について、区民に知っていただく機会が必要である。